



ジャパン・レジリエンス・アワード2018「優良賞」受賞

3年連続受賞！

3月20日(火)東京・時事通信ホールにて開催された、第4回「ジャパン・レジリエンス・アワード2018」表彰式に出席しました。

- 2016年「名古屋市中川運河の治水利用」国土強靱化功労賞
- 2017年「名古屋市における大規模地震時の給排水機能の確保」優良賞
- 2018年「名古屋市における災害対策本部機能の強化」優良賞

ジャパン・レジリエンス・アワードとは・・・

次世代に向けたレジリエンス社会構築のため、全国から“強くてしなやかな国づくり、地域づくり、人づくり、産業づくりに資する活動、技術開発、製品開発等”を実施している企業・団体を評価・表彰する制度です。2016年から毎年応募し、今年度で3年連続の受賞となりました。

特別審査委員に、佐々木則夫氏(サッカー日本女子代表前監督)二階俊博衆議院議員、国土強靱化提唱者、古屋圭司衆議院議員、初代国土強靱化担当大臣をお迎えし、「都市と住宅、防災とレジリエンス」についてのトークショーもあり、有意義な表彰式となりました。



(左)金谷事務局長

今年度の受賞内容

災害対策本部の体制強化について

本市の災害訓練の様子



東京臨海広域防災公園にある国のオペレーションルーム



▼右写真の東京のオペレーションルームに比べ、本市はなんと手狭なことでしょうか。机と机の間が狭く人の移動すら難しく、情報の交換など災害対応業務に支障を生じると思います。H29年度11月定例会で「今後の災害対策本部の体制強化について一刻も早く実施しなければならない」と訴え、災害時の司令塔となる名古屋市災害対策本部が30年ぶりに充実強化されることが決定しました。